

児童相談所関連研修「司法面接」

【第1回】	【実施日】	5月13日（月）～5月14日（火）
	【受講決定者数】	41名
	【受講生の声】	・子どもの言葉で語ってもらうために、司法面接で学んだことをふまえて日頃の面接でも気を付けていきたいと思っています。 ・面接における環境設定の仕方、導入の仕方、誘導にならない聴き方など、いずれの内容も勉強になりました。 ・これまで曖昧だった他機関の役割、機能について理解を深めることができました。今後、司法面接が必要な場合に、三者で協力して実践できるように意識していきたいと思っています。 ・2日間を通し、ロールプレイや事例を通した意見交換をグループの中で積極的に行うことができ、他職種の方とお話しできたことはとても有意義だったと感じました。
【第2回】	【実施日】	7月8日（月）～9日（火）
	【受講決定者数】	39名
	【受講生の声】	・子どもが主体の面接の手法を、ロールプレイにて実践でき大変学びとなりました。本研修で学んだことを普段から意識して面接に取り入れていきたいと思っています。 ・司法面接の概要だけでなく、ロールプレイを繰り返しフィードバックをもらうという演習の中で質問の仕方やバックスタッフの役割など、より実践で活用できる知識について学ぶことができ大変勉強になりました。 ・検察、警察それぞれの組織の成り立ちや取り組みについて学ぶことができ、業務で連携するときや犯罪被害者等に対応する時に今回学んだ知識を生かしていきたいと感じました。また特別区での司法面接の取り組みについて学ぶことができ、とても有意義でした。
【第3回】	【実施日】	11月11日（月）～12日（火）
	【受講決定者数】	35名
	【受講生の声】	・子どもに語ってもらうことの難しさや、そのための技法について学ぶことができました。また、警察検察の方々と直接お話しすることができ、それぞれの立場や視点を学ぶことができました。 ・4回の演習を通して、面接者、被面接者、チームリーダー、書記のすべての体験ができたことがよかったです